

フューチャー グランド センター イベント バブル マ



8/3~9

うる星やつら 大会
☆ オンリー・ユー
☆ ビューティフル・ドリーマー
☆ リメンバー・マイ・ラブ

8/10~16

戦国魔神 時の異邦人
ゴショーケン
クラッシュ・ジョウ
超時空要塞 マクロス

8/17~23

ガス人間 オ-号
美女と液体人間
電送人間

8/24~30

マタンゴ
吸血鬼 ゴケミドロ
血を吸う眼

前売 / (大人)	(学生)
¥1,000	¥800
当日 / (大人)	(学生)
¥1,200	¥1,000

センター バブル マ

花畑町 324-8080 (TEL)

ヤングシネマフェスティバル

只今絶賛前売中 ■大人 ¥1,000
■学生 ¥ 800

●劇場窓口でお買い上げの方に特製ポスター進呈中!

8月3日(土)~9日(金) うる星やつら・オン・パレード

①オンリー・ユー	11:40	4:40
②ビューティフル	1:20	6:20
③リメンバー	10:00	3:00 8:00

うる星やつら PART1 オンリー・ユー

監督/押井守 原作/高橋留美子 週刊少年サンデー誌上で現在も好評連載されている人気作品のアニメ化。主人公ラムとあたるの翔んでるカップルを軸に、多彩なキャラクターが、現在、未来、妖界、魔界、宇宙界と、時間と場所を、縦横無尽にスクリーンせましと駆けめぐるナンセンスSFギャグアニメ。

うる星やつら PART2 ビューティフルドリーマー

監督・脚本/押井守 作監/やまざきかずお この作品では、見る側の「うる星」への思い入れを逆にとり、よくなじんだ世界を「虚構」にすりかえていく事で、見る者に、もし今生きている現実が、誰一の現実ではないかもしれぬという不安をおこさせることに成功し、大ヒットした。

うる星やつら PART3 リメンバー・マイ・ラブ

監督/やまざきかずお 今回は、ガラス玉に封じ込められた呪いをめぐってのお話で、開幕セレモニーでにぎわう、友引メルヘンランド、そこに仕掛けられた宿命の呪い、ピンクのカバにされたあたる、ミラーハウスに閉じこめられたラム、そして謎の少年ムウ……。一風変わった奇妙な味のファンタジーに仕上がっている。



8月10日(土)~16日(金) SFアニメ傑作選

①クラッシャージョウ	10:00	4:00
②マクロス	12:20	6:15
③時の異邦人	2:20	8:15

戦国魔神ゴーショーグン 時の異邦人 (エトランゼ)

TVの異色ロボットアニメ「戦国魔神ゴーショーグン」のスタッフが再集結して新たな視点で「ゴーショーグン」という素材に挑んだオリジナルビデオアニメ。今回はレミーという女の内にスポットを当て、しかもその過去、現在、未来を同時に描く。

時空要塞 マクロス 愛、おぼえていますか

TVのSFアニメシリーズをベースに製作された劇場用オリジナル。宇宙戦艦マクロスが活躍する宇宙戦争と、それに絡んで進行するミンメイ・輝・未沙のラブ・ストーリーを描いたSFアニメ。

115分

クラッシャージョウ

22世紀の宇宙空間の業務屋稼業「クラッシャージョウ」とその仲間たちの物語。高千穂遥の同名シリーズによる新作脚本を安彦良和がキャラクターデザイン、初演出したスペース・アクションの傑作。130分



8月17日(土)~23日(金) 東宝SF X傑作選

①美女と液体人間	12:05	4:45
②電送人間	1:40	6:20
③ガス人間第1号	10:30	3:10 7:50

美女と液体人間

放射能の影響で航海中の船の乗組員がどろどろの液体人間となって上陸、人間を襲う。液体人間の特殊効果は上々。

平田昭彦/白川由美 (58年 87分)

ガス人間第1号

東宝の「変形人間」シリーズの最良作。生体実験の結果、ガス人間となった男が銀行強盗し、盗んだ金で愛人の踊りの会を実現さす。

土屋嘉男/八千草薫 (60年 92分)

電送人間

旧軍人の裏切者に対する復讐がテーマで、殺人を予告した犯人は物質移転装置をつかって電送人間となって被害者の前に出現する。

鶴田浩二/白川由美 (60年 85分)



8月24日(土)~30日(金) 和製ホラー映画傑作選

①吸血鬼ゴケミドロ	12:05	4:40
②血を吸う眼	1:40	6:15
③マタンゴ	10:30	3:05 7:40

マタンゴ

無人島に漂着した数人のグループはそこにはえていたマタンゴという巨大なきのこを食べて、奇怪な異形の怪物に変身する。

久保明/水野久美 (63年東宝 89分)

吸血鬼ゴケミドロ

地球人の肉体に宇宙人ゴケミドロがのりうつる「侵略者」もの。特撮はちゃちだが、状況設定、プロットの異色さが秀逸。

(68年松竹 84分)

血を吸う眼

吸血鬼を十字架、ニンニクぬきで日本の風土に魅えらせた和製ホラー映画の代表作。数々のショックの積み重ねによる恐怖の醸成は鮮やかで、吸血鬼を演じた岸田森が印象的。

